

九月...きもの事始め...

昼間は残暑が厳しいのですが、朝夕の風に秋の気配を感じる季節です。渡り鳥が隊列を組んで、移動を始める姿を目にするようになります。9月はまだ単衣の季節ですが、絹や紗、麻などの薄物の季節は終わり、基本的には6月と同じものを着ます。できれば9月は、6月より暖色系の濃い地色を選ぶとよいでしょう。

きもので鑑賞する和の伝統芸能

**能楽** 能や狂言をはじめとする能楽は、格調を感じさせる付け下げや小紋などで。演者が特に重い演目を披露するときには敬意を表し、一つ紋付きの色無地などでよいでしょう。能舞台は三方吹き抜けの特殊な舞台。演者からも他の観客からも思いのほかよく見えるので、着つけにも気を引き締めて。

**邦楽** 邦楽は神楽から民謡まで幅広く指し振るが、清元、長唄、常磐津といったほかの舞台に比べ、趣味的な高い会が多いもの。装いにおいても華やかさがあがりながら、趣味的なものや、きもの通らざるを演出できるものがお勧めです。

**日本舞踊** 日本舞踊は、和の舞台のほかでもひと際華やか。舞踊家の公演、知人の発表会などプロアマチュアにかかわらず、装いは思い切り晴やかにして出掛けましょう。訪問着や付け下げなど、いつもより若やいで着こなして意識するとよいでしょう。

**文楽** 義太夫や歌舞伎の演目とも深い関わりのある人形浄瑠璃。装いの点でも歌舞伎に準ずるとよいでしょう。小規模の会場が多いので、少しおとなしい小紋などで品よくまとめても素敵です。

基本ルールで秋のおしゃれを楽しもう

クラシカル小紋のルール

きもの好きの皆様なら桐華等には古典柄の小紋が必ずおぼわっているはず。お芝居にお稽古にと活躍の幅が広い柄ゆきです。帯合わせの基本ルールは、古典柄×古典柄。伝統ある柄には、同等の格の柄ゆきがぴったり合います。きもの帯の地色も襲色目の法則に従ってコーディネートすれば、装いに品格を感じさせることもできるでしょう。

モダン小紋のルール

洋装の方が多い場面でも、周囲になじむ現代的な雰囲気の小紋。都会の建築にも良く合います。よりモダンな着こなしが楽しめます。異国情緒漂う柄ゆきや洋服の色調を取り入れたきものには、抽象柄や外国にルーツをもつ模様の帯が最適です。きもの現代的な味わいを注ぎ、コーディネートしやすい。小物選びもおしゃれになるポイントになります。

大柄小紋のルール

大きな模様やインパクトのある柄ゆきの華やか小紋は、帯合わせが難しく、無地調の帯を選びがちです。一歩進んで、柄のルーツや雰囲気を読み込ませてコーディネートしたアイテム。パーティや華やかな席にはインパクトある着こなしも、歌舞伎や能、邦楽のコンサートならクラシカルなコーディネート。大柄小紋を素敵に着こなせば、あなたもきもの上級者の仲間入り。

パステル小紋のルール

きれいなカラフルな小紋は、強い印象。どんな場面でもかわいいたスタイルが演出できます。きもの生地や透明感を生かして上手に帯合わせをしましょう。最近の基本ルールは、きもの帯のトーンを揃え、反対色に近い溶け込みや同系色同士の組み合わせが人気です。帯や帯あがりも明度の高い色をチョイスして、若々しいコーディネート。

こうずきのきものクリニック

シミ抜きできものをよみがえらせ!!  
「筆筒からきものを出したら、知らない間にシミができていた」  
「パーティで隣の人の飲み物がきものにかかった」……

「シミ」を見つけたらご相談ください

シミといっても、繊維の表面に付いた程度の「汚れ」、繊維の内部まで染み込んだもの、時間を経て変色して黄変シミなど、種類はさまざま。原因のわからないシミは多く、「徐々に着ると思ったらシミがあった」ということもあるでしょう。でも、ほとんどのシミは落とすことができるのです。成分に親和性のあるシミは何段階かに分けて洗剤液を使い分け、地色が抜けた場合は同じ色を調剤して塗り直します。生地が弱く、洗剤液が強いときは、シミが隠れるように柄を戻す方法があります。

Before



After



- 時間の経過でシミは?..... 経年変化で変色して、シミだけを落とせばいい場合は、シミと地色を抜いて元の地色と同じ色に直せば直せます。肌着で多数の黄変シミがあるものは新しい肌着に交換する方が安いです。
- 難しいシミは?..... 筆筒、ワイン、抹茶などは生地が染みやすいため難しいシミ。染め色が薄く、下地の水分と体温で蒸発しているため、やっかいです。気がついたら早くご相談ください。
- 繊維物のシミ抜きは?..... 染物や織物のシミ抜きは難しいものですが、細いシミ抜きは可能です。繊維物のシミ抜きは難しい場合があるので、シミが付いたら早くご相談ください。大切なものはガード加工をしてあげてください。
- シミが付いたときは?..... 取る、叩く、水で洗うなどはやめましょう。落ちるはずの汚れが落ちないのはこの原因です。乾いた生地は軽く叩いて汚れを押し取る。最後に、後はご相談ください。

きものお手入れ承ります

- このきもの... どうしたらいいのかしら? まだ使えるの? とお悩みの場合は、お直しや修理でお返し、処分するのでもってほしいし、きもの診断見直し無料。
- 知らず知らずに、シミやカビが... 私のきものを娘にも着せて!! 譲り受けにきもの、使いたいけども... 大切なきものだけ、色も柄も、今風はいいのよ。いい品だし、使えばお返しして... 上手な活かし方を提案いたします。地色替えや染め替え、リメイクも承ります。

あきらめずに、まずはご相談を



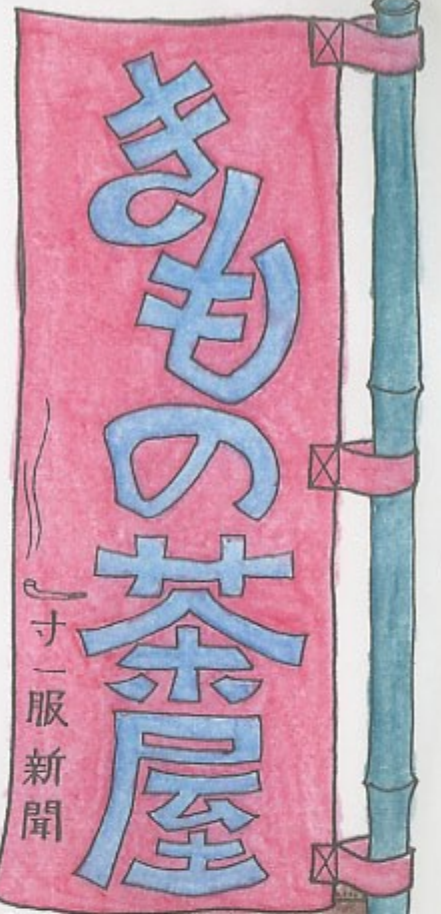
大徳寺孤蓬庵

平成26年秋季特別拝観期間 9月28日(日)~10月9日(木)  
京都府京都市東山区大徳寺町53



受付: 10:00~16:00 拝観料 800円

孤蓬庵とは... 大徳寺塔頭寺院。作庭家・建築家、そして茶人としても有名な小堀遠州が建立した寺院。建物は重要文化財に指定されており、その中でも茶室「忘筵」は建築茶の場を知るものとして一度は訪れてほしい聖地とも呼ばれております。通常の概念とは異なる忘筵の独特な造りや鑑賞する方向から様々な表情を見せる近江八景を表した庭園など、天才とよばれる遠州の感性を存分に楽しみ頂けます。更に今公開では過去に一般公開されたことがない、狩野探幽のオリジナルの障壁画等も間近で鑑賞できる書院「直入亭」茶室「山雲床」も特別に公開致します。



第16号

9月のこうずき  
秋の月華展  
20日(土)~23日(火)

2014 長月  
September